

ピーカンナッツについて ～収益性・機能性・将来性～

1 ペカンナッツ（ピーカンナッツ）とは

(1) 原産地

ペカンナッツは、クルミに似た北米原産の木の実で、柔らかく渋みのない食べやすさから、アメリカを中心に生食や製菓材料、料理のトッピングなどで日常的に食べられている食材です。原産地は、北米インディアナ州からメキシコ北部と言われています。落葉性高木で、放置しておけば、樹高20mを超える高木になります。寿命は長く、300年以上も果実生産を続ける樹もあります。

(2) 特徴

クルミに似ていますが、写真1の様に、殻は手で割れるほど薄く、取り出しやすいナッツです。

収穫は、写真2の様にドングリのような実が自然に落ちてくるので、落ちた実をシートで受けたり、熊手で掃き集めます。耐寒性は強く成木ではマイナス20度にも耐える品種があります。雌雄同株ですが、雄花と雌花の開花期が多少ずれるため、経済生産のためには、複数品種を植えます。

主な用途は、クルミと同じで、ローストして塩味をつけてスナックとして利用したり、パンやケーキに混ぜてお菓子にしたり、アイスクリームの材料にしたり、アメリカでは、伝統的なペカンパイとして食べられています。



写真1 ペカンナッツの実



写真2 熟したペカンナッツ

2 ペカンナッツの機能性・効能

高い抗酸化性を持ち、アーモンドなどのナッツよりも酸化劣化に強く、アメリカのエモリー大学では、アルツハイマーに有効との研究結果があります。また、日本でも日本医科歯科大学で、抗酸化性に注目した健康への有効性を研究中です。健康に良い食品として注目されています。

3 ペカンナッツの収益性

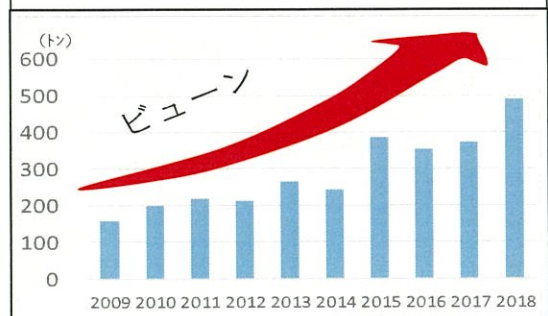
ペカンナッツの価格は、製菓材料としては高く、一例ですが2,500円/kgで取引されています。ちなみに、アーモンドは1,000円/kg、クルミ1,000円～1,500円/kg、カシューナッツ1,500円～2,000円/kgですので、非常に価格の高いナッツであるとお判りいただけると思います。

4 ペカンナッツの輸入量

国内の消費(輸入量)は表3の様に、2014年までは、200トン前後でしたが、2015年を境に、輸入量が増え、2018年には490トンにもなっています。

価格が高いにもかかわらず、そのおいしさから、リピート率が高く、知名度が上がるにしたがって、消費が増えている状況にあります。

表3 ペカンナッツの輸入量(トン)
(日本ナッツ協会より)



5 栽培の歴史

スペイン人がメキシコを植民地とした 16 世紀に殻が薄くてドングリのような「おいしいクルミ」として、ヨーロッパ、アジアに伝わりました。

アメリカで経済栽培が始まったのは、1880年代になってからで、現在の世界の生産量は約30万トンです。約9割がアメリカ(15万トン)とメキシコ(12万トン)で生産されています。残りは、中国やオーストラリアです。中国では消費&生産量ともに伸びています。生産量のほとんどは、アメリカで消費されています。2010年の統計によれば、ペカンナッツの生産量は、9万トンだったので、8年間で3倍以上増えています。

日本へは、1915年に持ち込まれて以降、何度か増殖機運が盛り上がった時期がありましたが、接木増殖技術が未熟だったため、増殖機運に応えられず、クリ栽培が流行したため、次第に顧みられなくなりました。



案件紹介シート

取扱品目	生鮮（果物）
ニーズ種類	販売（国内）

JA南彩のペカンナッツ（ピーカンナッツ）の販路について

農業者名	-
------	---

ニーズ & 商品概要	<ul style="list-style-type: none"> ・JA南彩では、令和元年からペカンナッツの栽培に取り組んでいる。生産者は10名程度 ・ペカンナッツはクルミに似た北米原産の木の実で、アメリカを中心に生食や製菓材料、料理のトッピング等で利用されている。 ・高い抗酸化性を持ち、健康食品として注目されている。 ・現在販売はまだしていない。 ・ナッツ類の需要は高い中、国産ペカンナッツの生産は少ないので、ビジネスマッチングを活用し、効果的な販路開拓を目指したい。
セールスポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・国内流通のほとんどがアメリカ産で国産は極わずかなので注目度は高い。 ・殻付きだと保存性が高い。 ・柔らかく渋みがなく食べやすい。 ・ローストして塩味をつけ、スナックとしても利用できる。 ・国産ならではのしっとり感が特徴で、生でもローストでも風味豊かな味わいのナッツ。

当社概要	
名称	南彩農業協同組合
創業	-
所在地	埼玉県春日部市南2-4-30
売上高	-
経常利益	-
当社特徴	埼玉県東部に位置し、首都圏に立地している条件を生かし、消費者のニーズに対応した多品目の生産や、果樹の観光農園などの取り組みも行われ、多彩な都市近郊農業を展開している。地域の特産品として、米、小松菜、山東な、胡瓜、トマト、くわい、梨、苺などの栽培が盛んである。

既存販路	なし	取引条件	少ロット希望
対象エリア	全国の小売、加工品業者等	その他	殻付きのままの販売を希望 (殻付きのままだと保存は1年以上可能) 収穫時期は秋（11月～12月）



紹介経緯	-	JA名	担当部署名	非開示先（個社名を記入）	非開示情報
		JA南彩	営農経済部生産販売課		
自由記入欄	-	担当者名	連絡先	-	-
		-	048-720-8092		